

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 7 月 7 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 7 月 3 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	デンマーク
留学先大学	コペンハーゲン大学 (日本語名) Københavns Universitet(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	デンマーク語または英語 / 英語
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 人文学部 現地言語での名称: Det Humanistiske Fakultet ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～12 月中旬 2 学期: 2 月上旬～6 月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 37000 人
創立年	1479 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (DKK) (1 現地通貨 = 23 円)	B 日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	4607DKK	106,240 円	+8000DKK デPOSIT
食費		100,000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		19,000 円	
現地交通費		21,700 円	自転車は 500DKK で購入 (☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		700,000 円	旅行(8 か国)
旅費(留学中)		上記に含まれる 円	
被服費		25,000 円	
医療費		円	
保険費		120,000 円	形態: 明大サポート海外旅行保険
渡航旅費		270,000 円	
ビザ申請費		500,000 円	
雑費		50,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 円)	円	
総計(A+B) ※円		円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：成田空港 目的地：コペンハーゲン空港 経由地：ワルシャワ空港	
復路 出発地：コペンハーゲン空港 目的地：成田空港 経由地：ワルシャワ空港	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：ポーランド航空 料金：270,000	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名： 日本旅行) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前： tietgen kollegiet) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)	
3) 共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
Housing foundation を利用	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
基本的に個室で、キッチンのみ約 12 人のキッチンメイトとシェアします。この寮に住んでいるほとんどの人がデンマーク人なので、普段からデンマークの文化に触れることが出来るのが魅力です。履修する授業にもよりますが、寮から大学のサウスキャンパスへは徒歩で三分程と、とても近いためすごく便利です。円状のドームで珍しいデザインの建築であり、コペンハーゲンの中でも有名な寮である点や、季節によって寮から見える景色が変化の様子が見れる点などもこの寮の魅力だと思います。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

留学開始時に在外届を提出したため、日本の大使館からデンマークの治安等に関するニュースがメールで届くようになっていました。特に盗難や犯罪に巻き込まれることは無かったです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは時々 Wi-Fi の接続が切れてしまう事が難点で、それ以外はほとんど支障なく快適に使うことが出来ました。大学のキャンパスでも Wi-Fi を使うことが出来ます。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金はほとんど使わないため、クレジットカードかモバイルペイでやりくりしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

調味料, ホットアイロ, 防寒着, インスタントの日本食など

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 一学期での取得可能単位数は 30 ECTS 以下	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
DCC Course in Danish Culture	デンマーク文化講座
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	2024 秋学期
単位数	7.5 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Peter Edelberg
授業内容	留学生限定で履修できるコースで、主にデンマークの文化、社会を多角的な面から学びます。
試験・課題等	指定された文献資料の予習。80%以上の授業出席。
感想を自由記入	毎回の授業で新しいテーマを扱うため色々な知識に触れることができ、とても面白い授業でした。講義だけでなくexcursionも組み込まれており、有名な美術館やお城にも訪れることができます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
DCC Danish Film, Television and Streaming		デンマーク映画、テレビ、およびストリーミング
科目設置学部・研究科	Humanities	
履修期間	2024 秋学期	
単位数	15 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Niels Henrik Hartvigson	
授業内容	デンマークの映画、テレビ、メディアの歴史を学びます。	
試験・課題等	授業出席と synopsis, final assignment の提出	
感想を自由記入	テレビ、映画の歴史という珍しいテーマでしたが、時代に沿って北欧映画やデンマーク映画の特徴を学ぶことができ、とても面白かったです。授業内で映画を見る機会もあるので、映画ドラマに興味のある人には是非お勧めです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Gender and Sexuality Studies Studies		ジェンダー論
科目設置学部・研究科	Humanities	
履修期間	2025 春学期	
単位数	15 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Peter Edelberg	
授業内容	ジェンダー論の歴史と変化について講義とグループディスカッションを行いながら学ぶ。	
試験・課題等	Synopsis と Final assignment	
感想を自由記入	ジェンダー先進国であるデンマークのセクシュアリティへの価値観や国民の向き合い方などを深く学ぶことが出来ます。授業内でのディスカッションを通して、参加している学生らの出身国のジェンダー政策や価値観をシェアする時間もあり、日本とも比較することが出来るので非常に興味深い授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Danish Architecture and Urban Design		デンマーク建築と都市デザイン
科目設置学部・研究科	Humanities	
履修期間	2025 春学期	
単位数	15 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Peter Edelberg	
授業内容	デンマークの環境、社会、経済に配慮した建築の特徴や都市デザインの工夫について学びます。	
試験・課題等	Synopsis と Final assignment	
感想を自由記入	講義形式だけでなく、野外授業もあり実際に建築・都市デザインで有名な場所に足を運ぶことが出来ます。デザインで有名なデンマークの建築都市デザインを学術的に学べたため一つ一つの授業がとても興味深いものでした。先生の授業も面白かったです。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	TOEFL 勉強・スコア取得
	8 月 ～ 9 月	交換留学申し込み書類準備
	10 月 ～ 12 月	交換留学選考期間
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学決定者オリエンテーション
	4 月 ～ 7 月	入学許可証、ビザ、寮の申請。明治大学に交換留学手続き書類提出。 航空券予約、パッキングなど出国準備。
	8 月 ～ 9 月	出国・留学開始
	10 月 ～ 12 月	中間課題
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	期末レポート・秋学期終了・春休み
	4 月 ～ 7 月	春学期開始・中間課題・期末レポート
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学先にデンマークを選んだ理由はデンマーク建築、デザインや充実した福祉制度がデンマークの高い幸福度にどうつながっているのかを身をもって学びたかったためです。学術的な理由でデンマークを選びましたが、この一年を通して本当にデンマークを選んでよかったと思います。海外で一年間生活するという事で不安でいっぱいでしたが、デンマーク人はとても優しく、いつも笑顔でいてくれました。治安も日本と同じくらいに良く、快適で自由な生活を送ることが出来ました。また、サステイナブルな環境づくりに力を入れていることや、政府や国民への信頼度が高いところなど、国として非常に尊敬できる要素がコペンハーゲンでの日常生活の中には溢れており、面白い発見や学びに出会える日々でもありました。さらに、交通の便なども含めて様々な場所に旅行しやすかったことも魅力です。コペンハーゲン自体が小さな町であるため、公共交通機関はとてもシンプルで、かつ 24 時間動いています。そのため空港へのアクセスも非常に良く、手軽に遠征がしやすかったです。週末を使ってスウェーデン、ドイツなどに行ったり、まとまった休みを利用して、もう少し離れたヨーロッパ国を旅したり、一年を通して様々な国を訪れることが出来たことは一生の思い出です。旅行が好きな人、ゆっくり落ち着いた生活を送りたい人、家具や雑貨が好きな人、建築に興味がある人などには特に、留学先の国としてデンマークをおすすめしたいです。